

## 平成27年度第3回経営協議会会報

総務部総務課

日 時 平成27年12月15日(火) 13:30~16:30

### 審議事項

#### (1) 第3期中期目標原案・中期計画案について

西田理事から、第3期中期目標原案・中期計画案について、資料に基づき説明があり、中期目標原案については了承され、中期計画案については、後日書面審議を依頼することとした。

#### (2) 平成28年度予算編成方針(案)について

小島理事から、平成28年度予算編成方針(案)について、資料に基づき説明があり、審議の結果、これを了承した。

なお、審議に当たって、次のような質疑応答があった。  
・人事院は、来年も給与の引き上げを勧告するという新聞記事があったが、実際、琉球大学が人事院勧告に準拠した場合、対応できるのか。  
→平成27年度はなんとか対応できたが、平成28年度は、引き上げ率にもよるが、対応が困難な場合も想定される。

### 報告事項

#### (1) 平成26年度に係る業務の実績に関する評価結果について

川本副学長から、平成26年度に係る業務の実績に関する評価結果について、資料に基づき報告があった。

なお、報告に対して、委員から次のような発言があった。  
・評価項目4つのうちの1つが「おおむね順調」と評価されたことは、遺憾である。教職員が全学一丸となって、大学改革や大学の経営が厳しい環境であるということを理解した上で、きちんと一人一人の責任を全うしているといえるようにしていただきたい。

#### (2) 宜野湾市と国立大学法人琉球大学との包括連携協定の締結について

外間理事から、宜野湾市と国立大学法人琉球大学との包括連携協力に関する協定について、資料に基づき報告があった。

#### (3) 平成26事業年度決算剰余金の繰越承認について

小島理事から、平成26事業年度決算剰余金の繰越承認について、文部科学大臣の承認があった旨資料に基づき報告があった。

#### (4) 上原キャンパスの移転について

須加原理事から、上原キャンパスの移転について、資料に基づき報告があった。

#### (5) 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)について

宮里琉大コミュニティキャンパス事業本部特命准教授から、地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)について、資料に基づき報告があった。

なお、報告に基づき、委員から次のような発言があった。  
・一括交付金で、さまざまな産業振興の事業が行われている。より実践的な授業の中に一緒に入って実践ができるような機会を作っていただければと思う。机上論で、政策的な中に入っていくとか、一緒にまとめていくというようなワークショップに参画するのはできるかと思うが、もう一歩進んだ活性化事業の中で、現場において一緒に学んでいくOJTを意識していただければ、学生がより育つと思う。

(6) その他

渡名喜理事から、平成28年度推薦入試に係る出願登録の誤りについて、報告があった。

懇談事項

(1) IRと大学運営 ～戦略的マネジメントに向けて～

川本副学長及び鎌田IR推進室特命助教から、本学のIRの取組について、資料に基づき説明があった。

引き続き、学長から、委員に対し、ご意見を伺いたい旨発言があった。

なお、懇談に当たって、委員から次のような発言があった。

・ハワイ大学の一つの例として、IRを活用したお陰で、卒業率が高くなったという実績がある。IRを用いて、学生に人気のない授業の時間帯や教室・教員が十分足りているか等の調査を行った。それにより、教室が不足している場合は、教室を増築し、教員が不足している場合は、非常勤講師を採用する等の対応を行った。

・IR的な数字というのは、企業経営上も非常に重要であると同時に、顧客側から見た企業実態も明らかになる。大学においてこういったアプローチをすると、学生から見て自分に合う大学を選択しやすくなるのではないか。

また、客観的なデータに基づいて議論をすることはとても重要なので、若い教職員を中心に、大学経営をサポートしていくために、IRをきちんと利用していくと良い。学内の教職員にIRによる事実というものを認識してもらうことが重要であり、その情報を学外へ向けてオープンにしていくということも大切である。